

2014. 9. 1 発行

[発行] NPO法人 **こころの応援団**

発行人 千代田すみ子

〒379-1403

群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉1514-1

TEL 0278-66-0999

FAX 0278-66-1000

E-mail off@npo-kokoro.com

URL <http://www.npo-kokoro.com>



支えあいましょうプロジェクトは平成26年度もみなさんと一緒に継続しています

「支えあいましょうプロジェクト」は被災地支援だけでなく、こころの応援団事業すべてに共通する方針です。すべての事業に誰でもご参加いただけます。必要なことは優しい気持ちと支え合う心です・・・

気仙沼支援ボランティア参加者募集



作業ボランティアではありませんのでご家族でもご参加いただけます。

第1弾

10月4日(土)～5日(日)

第2弾

11月8日(土)～9日(日)

参加費 ¥20,000

ホテル1泊3食付き・送迎バス代・ガイド謝礼
BRT乗車料(JR代替バス)・入場料・保険料等

定員 20名

申込み 10月出発は 9月10日 までに

11月出発は 10月10日 までに お申し込みください

0278-66-0999 NPO法人こころの応援団

内容

1泊2日の日程で、気仙沼被災地ガイド案内により被災地を見て、聞いて、感じて被災地を支援します。

(ガイドは今年、気仙沼の女性中心に結成されました。ガイド名を「気仙沼ガイドやるっちゃん」と言います。)

エンジョイ 秋の軽井沢

10月25日(土)



心の病があってもなくてもご一緒しませんか・・・
必要なのは支え合う心です。

あこがれの軽井沢へ一緒に行きましょう!

集合 沼田福祉センター 8:00

参加費 ¥2,000 (当事者の方 ¥1,500)
送迎バス代・昼食代・保険料

定員 20名

申込み 10月15日までに
こころの応援団事務局まで

内容

送迎バスにて軽井沢へ
旧軽井沢でランチタイムと軽井沢アウトレットウインドショッピング

エンジョイ事業とは・・・

心に病を抱える方々と一緒にお茶飲み会などの
サロン開催をはじめ、年数回は一緒に外出し様々な
経験を積み重ねお互いを理解し合う活動です。

NPO法人 こころの応援団は、心に病を抱える方々と一緒に行動し、理解の輪を広げる活動を行なっているボランティアグループです。

東日本大震災復興支援活動報告

こころの応援団は東日本大震災の支援活動においても、人と人の絆をつなぎ、寄り添うことを大切にしています。

平成26年は再びボーイング社より気仙沼支援のために助成していただきました。被災者の心のケアと女性の就労支援のために活用しています。

気仙沼市での復興支援活動

現在、気仙沼には数え切れないほどのトラックが行きかい、防潮堤、かさ上げ工事、高台移転の工事が着々と進み、3年前に何もなくなった土地にまた新たな街が生まれようとしています。まだまだ問題は山積みですが、これは行政も住民もともに努力した結果だと思っています。スピード感を考えると確かに早くはありません。ですが、あまりにも膨大な面積の復興ですから仕方なくもあります。今はただ、これから先を注目し、応援して行きたいです。



そんな中、当法人はこの春より、被災地ガイドの養成を行いこの秋には群馬県より「気仙沼支援ボランティア」を募集し1泊2日で被災地ガイドを応援するとともに被災地の現状を見学し、楽しみながら学習するツアーを企画しています。もちろんガイドは、養成に参加して下さった女性の方々です。ガイド名を「気仙沼ガイドやるっちゃん」と名付けました。どうか応援してください。



仮設住宅でのサロン事業や戸別訪問は4年目を迎えました。今は、高台移転の新しい住居に暮らせる日まで元気であることを目標に、折れそうな心をお互いに支えあっています。

あれから3年が過ぎ、亡くなった方を思い皆で手作りのお地藏さんを作りました。 →



南相馬市の方々に寄り添って関心



お地藏さん作りを南相馬でも行いました。作る時は皆、真剣！ 出来上がれば、またおしゃべりが始まります。



女性はいつでも、どこでも積極的!

南相馬市は仮設住宅近くに次々と公営住宅建設工事がスタートし、すでに住み始めた所もあります。しかし、それは、仮設住宅の方々のためとは限りません。こころの応援団が関わっている仮設住宅の方は、現在日中は帰宅できる方が多く、将来は自宅へ帰る予定なのです。

ですが、本当に帰れるか否かは未だ決定されず、複雑な思いが込み上げているようです。なるべく考えないように今を楽しんでいるように見えますが、心の奥にはやはり、不安が潜んでいるはず。



グランドゴルフも板に付き、気分はすっかりプロのプレイヤー

私たちはいつも被災者のそばにはいませんが、心は近くにいます。そして、これからも寄り添っていきたいです。



こころの応援団その他の主な事業

ENJOY事業
勉強会ステップ
ピアサポート事業
広報事業

毎月開催するサロン事業で、時には外出したりもします。心の病気に関心のある方どなたでもいつからでも参加可能な勉強会です。「With You」と名づけ片品村の障害者とともに活動しています。だんだん通信やホームページを作成しています。

どの事業も支え合う心を大切に考えて下さる方ならどなたでも参加可能です。是非ご参加ください。その他、相談事業や自殺対策事業も行っています。

こころの応援団 ENJOY事業・・・報告

このエンジョイ事業は、心に病を抱える方と一般の方たちをつなげる活動で、一緒に行動することにより理解の輪が広がることを願っています。また、この事業に、たくさんの方々のご協力くださり、心より感謝申し上げます。

2014. 4. 20 SUN

ENJOY 春の時花を楽しもう



沼田福祉センターにてお弁当を作り、それを持って春の花咲くたくみの里を散策しました。

季節限定さくらセット

歩いた後は、やっぱりティータイム！
カップにまで桜の花が… 花より団子かなあ～



2014. 5. 24 SAT

ENJOY わたらせ渓谷鉄道



わっしー号って天皇陛下がお乗りになったのよね！

わたらせ渓谷鉄道わっしー号に乗ってきました。富弘美術館や草木湖周辺の散策もお天気に恵まれ気持ちのいい一日でした。

富弘美術館で作品を見た後、サンレイク草木で昼食。そこで、富弘さん本人に出会えました！



2014. 6. 28 SAT

ENJOY クラフト



大人のぬり絵をスタートにそれぞれ好きな物を製作しました。カメラを忘れたのでその時の様子を写せませんでした。 …… すみません。



2014. 7. 19 SAT

ENJOY Talking



6月に要望があったお地藏さん作りをおしゃべりしながら製作しました。参加者は2時間かけて制作した個性のあるお地藏さんに大満足！ だいじそうに持ち帰っていました。



こころの応援団 ENJOY事業・・・予定

詳細は こころの応援団事務局へ お問い合わせください。

2014年 9月13日(土) ENJOY デザートクッキング (最近流行りのトマトスムージーなどの簡単スイーツを作りましょう)

2014年 10月25日(土) ENJOY 軽井沢 (近くて遠いあこがれの軽井沢を一緒に歩いてみませんか)

2014年 11月22日(土) ENJOY 年賀状作り (定例になった年賀状作り来年はヒツジです)

エンジョイ事業は参加者のアイデアも実現していく楽しい集まりです。参加はご自分で行動出来ればどなたでもOK。まだ参加されていない方も、是非参加してみてください。

こころのステップ

毎月第3水曜日午前10時より沼田市福祉センター

こころの応援団の勉強会は心の病に興味のある方どなたでも参加できる集まりです。

こころの病に関することを参加者で共有し、楽しみながら話しあっていく勉強会にしたいと思っています。



- 9月17日 心の病気の経験談
- 10月15日 ロールプレイで体験する寄り添う心
- 11月15日 中止となりました。



群馬県地域自殺対策緊急強化事業 「あなたのお話し聴きに行きますCar」

今年度も昨年度に引き続き自殺対策事業を開催しています。こころの応援団は愚痴のような悩み事から深刻な悩みまで、お話しを聴くことを大切にします。

まずはご連絡を …… 0278-66-0999 こころの応援団

情報コーナー

- ・ 利根沼田障害者相談支援センター（障害者就労・生活支援センターコスモス）
沼田市役所東原庁舎内（沼田保健福祉センターとなりの建物で、元合同庁舎）
平日午前8時30分～午後5時15分 無料 連絡先 0278-25-3781
- ・ ころの応援団もご相談を受けています。 NPO ころの応援団事務局 0278-66-0999
すぐには解決できないかも…だけど、話すだけでも心は軽くなるかもしれません。
(但し、活動などで電話にでられない時もあります。何度か連絡してみてください。)

いざという時の連絡先

ころの健康センター 027-263-1156
群馬いのちの電話 027-221-0783
(毎月10日のみフリーダイヤル 0120-738-556)
その他、市町村役場内福祉課や利根沼田保健福祉事務所
東京自殺防止センター 03-5286-9090 (20:00～翌朝6:00)



復興地から…

明るいニュースがたくさんあります

- ・ やっと高台移転が現実を感じられるようになった
- ・ グランドゴルフだけでなく、パークゴルフにも挑戦してみた
- ・ 新しい店舗を近々オープンするの
- ・ 仕事のスキルアップに取り組もうとしているの



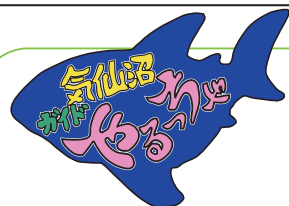
それでもなお、不安や怒りの声も聞こえます

- ・ 最近、被災地が忘れられている気がする
- ・ 仕方ないけれど、トラックが多くて怖いような気がする
- ・ 仮設から出られたけれど、さみしい
- ・ 仮設から出られる日まで元気でいられるの不安
- ・ 仮設の暮らしが長引くと荷物が増えて、一層狭く感じる

編集後記

今年も、大雨による土砂災害で辛い思いをされている方が大勢でています。私も山の中腹に暮らしているので、他人ごとではありません。今も、雷が夕方の空に響きわたって、身が縮む思いです。
そこで、私は家族と話し合い、大雨の時は2階で眠ることにしました。災害は避けることができないように思えますが、避けたり、減災することも可能です。日頃から、様々なケースをイメージして、家族みんなで話し合っておくことが大切だと思います。
備えあれば憂いなし…

千代田すみ子

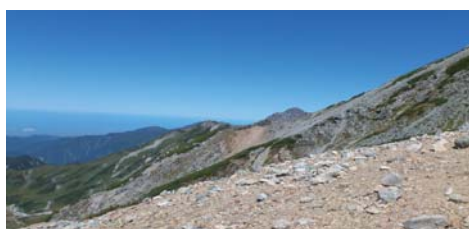


気仙沼ガイドやるっちゃん

「気仙沼ガイドやるっちゃん」は、気仙沼の被災した女性たちを中心に結成した被災地ガイドの名称です。今年の春より研修を重ね、ロゴマークも決まり、この秋いよいよスタートです。

10月と11月にはころの応援団が企画し、1泊2日で「気仙沼ガイドやるっちゃん」のガイドツアーを開催します。

皆さんもこの「気仙沼ガイドやるっちゃん」を応援してください。



ご寄附ありがとうございました

桐生市 中山様他 桐生市 斉藤様
桐生市 明村様 みなかみ町 チッチ様
みどり市 水沼温泉センター様

その他匿名の方々よりご寄付をいただきました。

皆さまからのご寄付は当法人の事業や被災地支援で大切にさせていただきます。



あなたを理解してくれる人はあなたのそばには必ずいます

NPO法人 ころの応援団 の活動のためにご支援をお願いします。

年会費	活動会員	1,000円
	賛助会員	10,000円
	寄付会員	任意

※ ご送金の振込先は下記のいずれかをお願いします。

【銀行口座】群馬銀行 沼田支店 普通口座 1496933 【郵便振替口座】 00140-5-671545

【口座名義人】特定非営利活動法人 ころの応援団

